

正像/鏡像出カタイプ

ビルトインカメラ BIC263

取付/取扱説明書

 保安基準適合品

 汎用製品

 日本国内専用

 12V車専用

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご相談窓口

サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC)
<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)
<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



 **Data System 株式会社 データシステム**

■【本社】東京都新宿区新宿1-18-2 ■【倉敷支社】岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。
BIC263-2002-AKN

保証について

●付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

●配線を通す際にカメラケーブルを切断した場合、配線の再接続不良による故障は一切保証致しません。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります(保証対象はカメラのみ。カメラカバーは保証対象外です)。

※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。

※保証規定は保証書を参照してください。

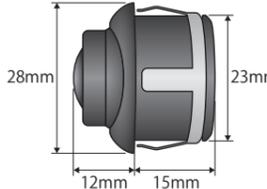
※保証書は如何なる理由があっても再発行致しません。あらかじめご了承ください。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

仕様

カメラ本体

有効画素数	40万画素	 <p>28mm 23mm 12mm 15mm</p>
水平解像度	480TV本	
映像信号	NTSC	
水平画角	180°	
垂直画角	110°	
電源	DC12V	
消費電流	約37mA	
動作可能温度	-20℃～+65℃	
重量	約17g(固定金具含む/ケーブル除く)	
出力タイプ	正像/鏡像映像(ガイドライン表示なし)	

ヒューズ 1A

ご注意

本製品は日本仕様車専用設計されています。故障や事故などの原因となりますので、海外仕様車への取り付けは絶対におこなわないでください。また、日本国外での取り付け、販売および使用を禁止しています。日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いません。
This product is designed for Japanese specification vehicle. A serious breakdown and accident might be caused when install it in an oversea specification vehicle. And sale, installation or use outside of Japan is prohibited.The manufacturer is not responsible for use of this product outside of Japan.

注意事項の定義について

注意事項は「 **危険**」、「 **注意**」、「 **警告**」、「 **重要**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
 注意	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
 警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
 重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

使用上の注意

 運転者が走行中に画像表示装置(テレビ画面など)を注視することは、道路交通法で禁じられています(道交法第71条)。

 カメラ映像はドアミラーやバックミラーなどと同様に、あくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用時は、必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。

 カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。

 カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいが変化することがありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するために発生する症状ですので、故障ではありません。

 自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。

 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

内容物一覧

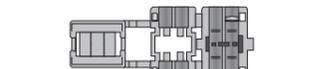
■カメラ(ケーブル長4m) × 1



■ピン端子ケーブル(6m) × 1



■エレクトロタップ × 2



■電源ハーネス(3m) × 1



※電源ハーネスは必ず付属品をご使用ください

■正像/鏡像切り替えコネクタ × 1



■延長ケーブル(1m) × 1



■ホールソー(24mm) × 1

■結束バンド × 10

■取付/取扱説明書(本書) × 1

■保証書
ユーザー保証登録カード × 1

別売

●カメラカバー CC-01

外形寸法	幅40mm×高さ33mm×奥行き44mm
重量	約11g

 ●カメラカバーのサイズは、気温や湿度などの影響により若干異なる場合があります。

取り付け上の注意

 **電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。**

 本製品は12V車専用です。

 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱業者でおこなってください。

 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。ただし、バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。

 車両側及び本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り回しには十分ご注意ください。また、車内に水が浸入しないよう適切な配線処理をおこなってください。

 本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。

 車体から脱落しないようしっかりと装着してください。

 配線を通す際にカメラケーブルを切断した場合は、必ずハンダを使用して1本ずつ配線同士を接続した上で、それぞれ収縮チューブで絶縁してください。ハンダ以外を使用すると、断線や接触不良の原因となる場合があります。

 電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、これらを切断してしまうと正常動作しなかったり故障の原因となる場合があります。

 付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。

 電源ハーネスのアース線は、塗装などが施されていない(金属が露出している)場所に接続してください。アースが正しく接続されていないと、本製品が正常に動作しない場合があります。

 シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれたりする可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品破損やハーネス断線の恐れがあります。

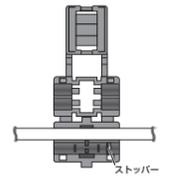
 本製品取り付けの際、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって機器が故障するおそれがあります。

 配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こすおそれがあります。

エレクトロタップの使い方

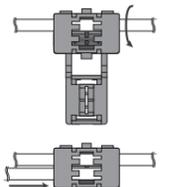
 接続後、テスターを使用して確実に接続されているか確認してください。接続が不完全の場合、動作不良の原因となります。

1.接続される車両側配線にエレクトロタップを合わせる

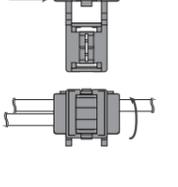


2.エレクトロタップのカバーをしっかりと閉じる

※プライヤーなどを使用して、確実にカバーを閉じてください



3.接続する配線をエレクトロタップのストッパーに当てるまで差し込む



4.エレクトロタップの接続用カバーをツメのロックがかかるまでしっかりと閉じる

※プライヤーなどを使用して、確実にカバーを閉じてください

メンテナンスについて

 カメラは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変質・変形等の原因となります。

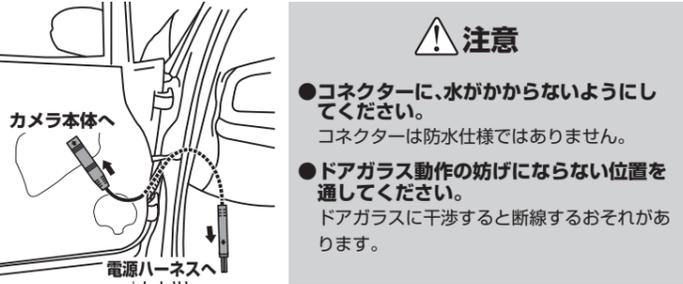
 レンズは定期的に、または汚れていたらきれいに拭いてください。但し、拭く際は柔らかい布などに水を含ませ軽く拭く程度にしてください。強くこすったり乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

延長ケーブルの使い方

付属のケーブルで、カメラのケーブルを延長できます。

サイドカメラとして使用する場合に車内・ドア間のゴムブーツ部分に使用すると、取り付けやメンテナンスの際に便利です。

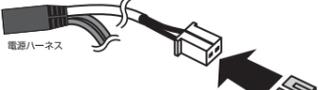
必要に応じてご使用ください。



鏡像/正像切り替えについて

 カメラに電源が入った状態で、正像/鏡像切替コネクタを取り付けたり取り外したりしないでください。

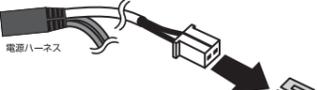
鏡像で使用する場合



正像/鏡像切替コネクタを取り付けます。

※出荷時は正像です。

正像で使用する場合

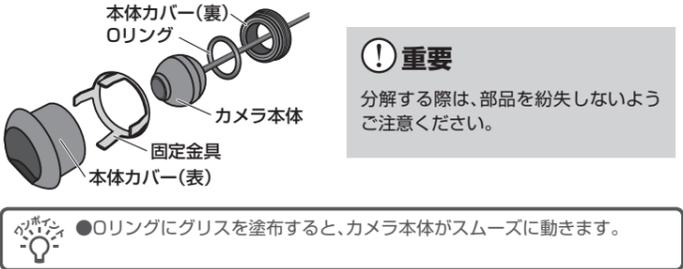


正像/鏡像切替コネクタは使用しません。

カメラの構造について

本製品のカメラ部は、下図のようにカメラ本体をOリングに押し付けて固定する構造になっています。

本体カバーの締め具合でカメラ本体の動きを加減できます。

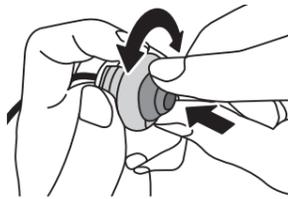


取り付け方法

1. カメラ本体の動きを確認、調整する

1-1. カメラ本体が適度な手の力で動くか確認します。

●カメラ本体を軽く押すと、動きやすくなります。



1-2. 動かない場合や、軽い力で動いてしまう場合は、本体カバーを回転させて調整します。



2. カメラを取り付ける

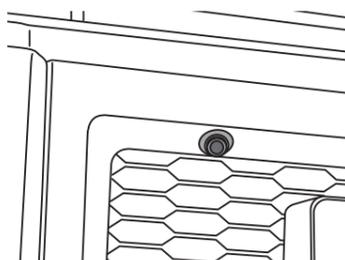
●車体に穴を開けて取り付ける

同梱のホールソーを使用するなどして車体に直径24mmの穴あけて埋め込みます。取り付け作業は慎重におこなってください。

！重要

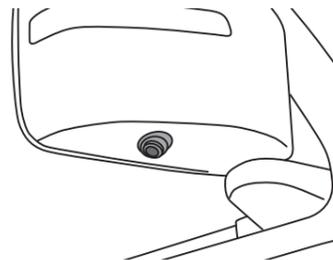
- 穴をあける前に、必ず内側にカメラ本体の埋め込み部が収まる20mm以上のクリアランスがあるか確認してください。クリアランスがない場合はその位置に取り付けできません。
- 必ず車体の全長・全幅・全高からはみ出ない位置に取り付けてください。
- 角度調整範囲は最大30度です。カメラが適切な向きに調整できる位置に取り付けてください。

フロントバンパーに埋め込んだ例



※バンパー内側にレインフォースや車両側のハーネスなどが無いかな必ず確認してください

ドアミラーに埋め込んだ例



※ミラーの角度を調整する際にビルトインカメラの埋め込み部とミラー面が接触する可能性がある場合は、別売のカメラカバーを使用して取り付けてください。

●(別売)カメラカバーを使用して取り付ける

カメラカバーにカメラ本体を差し込み、カメラカバーを付属の両面テープで車体に固定して取り付けます。

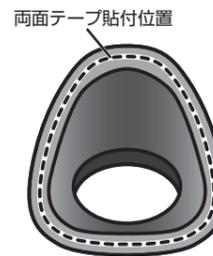
！重要

- 必ず車体の全長・全幅・全高からはみ出ない位置に取り付けてください。
- 取り付け位置によってはカメラケーブルを車内に引き込むための直径6mmの穴あけが必要になる場合があります。

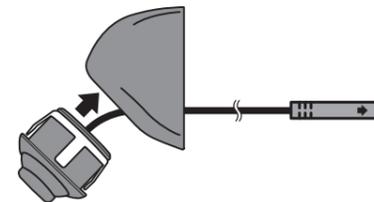
2-1. 付属の両面テープをカメラカバーに貼り付ける

！重要

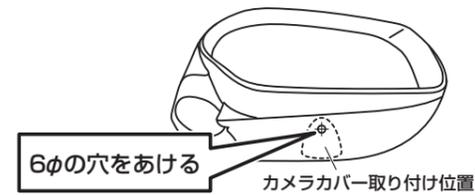
- 必ず付属の脱脂クリーナーで脱脂してから両面テープを貼り付けてください。
- 両面テープの保護シートは、まだはがさないでください。



2-2. カメラにカメラカバーを取り付ける



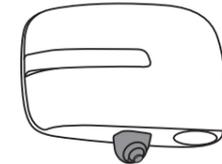
2-3. カメラカバー取り付け位置の適度な場所に、6φの穴をあける



！注意 ●ミラーの角度を調整する際にカメラケーブルが接触しない位置に穴をあけてください。

2-4. カメラカバーに貼り付けた両面テープの保護シートをはがし、カメラカバーを本装着する

寒い時期はドライヤーで暖めると密着しやすくなります。

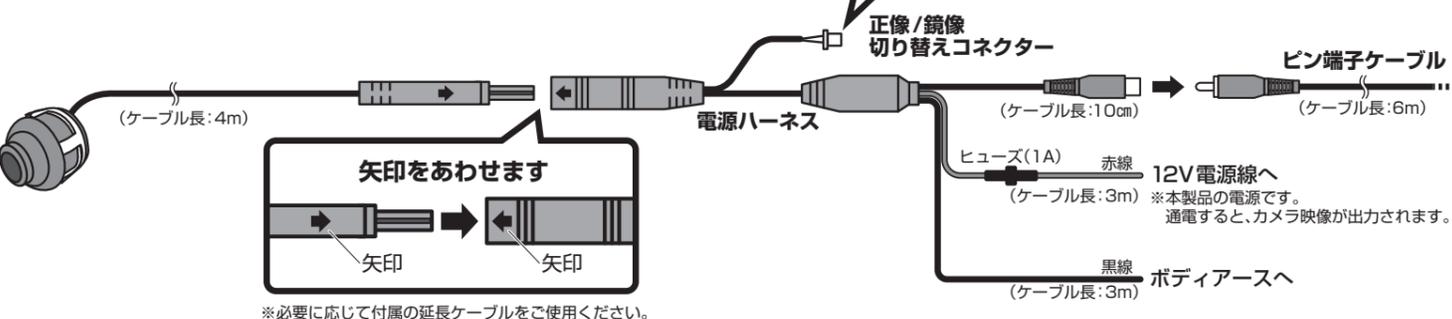


3. 電源ハーネス、ピン端子ケーブルを車両側に接続する

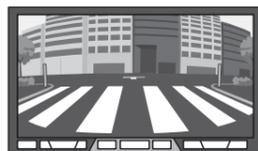
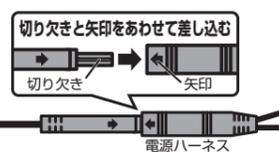
カメラ映像の正像表示/鏡像(左右反転)表示を切り替えます

- 正像表示 ※工場出荷時
- 鏡像(左右反転)表示 コネクタを取り付けます

！注意 カメラの電源が入っているときは、コネクタを脱着しないでください。



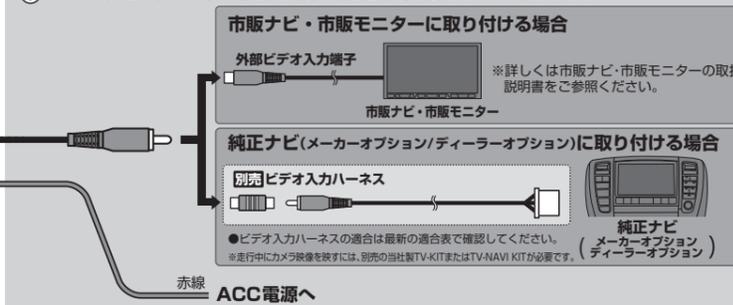
4. カメラケーブルを電源ハーネスに接続し、カメラの角度を調整する



5. 車両を復元し、作業完了。

フロントカメラ・サイドカメラとして使用する場合

！カメラ映像を表示する際は、手動で外部入力画面に切り替える必要があります。



リアカメラとして使用する場合

